

令和3年度 第1回花巻市介護保険運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和3年10月7日(木)午後1時～2時17分
- 2 開催場所 花巻保健センター 2階 集団指導室
- 3 出席者
 - (1) 委員 16名
橋本純子委員、菊池清委員、大原初美委員、多田悦子委員、高橋弘毅委員、佐々木一広委員、内館憲二委員、藤本莞爾委員、小田島克久委員、柳原克浩委員、那須秀逸委員、上川亜矢委員、小木田勇輝委員、狩野敦史委員、影山一男委員、千葉正明委員
 - (2) 欠席した委員 2名
狩野隆史委員、畑村浩一委員
 - (3) 花巻地域包括支援センター所長 伊藤文子
 - (4) 事務局 9名
健康福祉部長 高橋靖、長寿福祉課長 今井岳彦、健康づくり課長 長山義博、長寿福祉課課長補佐 高齢福祉・包括支援担当 久保田和子、同課課長補佐 介護給付・介護認定担当 佐藤ひとみ、同課高齢福祉係長 丹野久弥、同課包括支援係長 伊藤幸恵、同課介護給付係長 藤原由紀子、同課介護認定係長 有戸裕美子
 - (5) 傍聴者 なし
- 4 次第
 - (1) 開 会
 - (2) あいさつ
 - (3) 会長選出
 - (4) 副会長選出
 - (5) 協 議
 - ① 介護保険事業の実施状況について
 - ② 地域支援事業の実施状況について
 - ③ 第7期介護保険事業計画評価指標に対する自己評価
 - ④ 保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について
 - ⑤ 地域密着型事業所の整備状況
 - (6) 閉 会
- 5 会議内容

(1) 開会 進行：佐藤課長補佐

ただいまから令和3年度第1回花巻市介護保険運営協議会を開催する。

開会に先立ち、市長に代わり、健康福祉部長の高橋より委嘱状を交付する。お名前を読み上げるので、委員の皆様にはお席でご起立いただきお受け取りいただきたい。

(2) あいさつ（高橋健康福祉部長）

本日は御多忙のところ令和3年度第1回花巻市介護保険運営協議会に御参加いただき、感謝申し上げます。新たな任期にあたり、本来であれば上田市長より委嘱状をお渡しするところであるが、あいにく、本日所用のため、私のほうでお渡しさせていただいた。

介護保険運営協議会は、委員数18名のうち、今回新たに5名の方を、新任ということでお願いをしているが、当市の介護保険事業計画等の推進及び市の介護保険事業の健全な運営を行うにあたり、広く皆様から御意見あるいは御提言を求める機会の場合ということで設けさせていただいている。任期は、本年9月27日から、3年間ということになる。どうぞよろしく願いをいたしたい。

介護保険の現状について、この後の協議の中で詳しく御説明を申し上げるところであるが、簡単に申し上げさせていただくと、本年度は、令和3年度から3年間を期間とする第8期介護保険事業計画の初年度ということになっている。第8期介護保険事業計画の事業費は、323億7,648万円ほどで、第8期では、第7期の計画額より約2%の減るものと見ている。これは、第7期計画では、330億442万円の計画に対して、302億1488万円の決算額となり、計画値の92%ほどの実績であったことを踏まえ、設定したものである。これに伴い、第8期での保険料は、市としては初めて、減額をさせていただいた上でのスタートとなっている。

本日は、第7期における事業の実施状況の御報告をいたしますので、それに対する御意見、提案をいただければと思う。いただいた御意見をもとに、今年度下半期の取組、あるいは、来年度の事業に、反映できるものにつきましては、検討させていただければと思っている。忌憚ない御意見いただければと思う。よろしく願いしたい。

(3) 会長選出

<出席状況の報告>（佐藤課長補佐）

本日の会議の出席状況を報告する。委員18名中、出席委員は14名。花巻市介護保険運営協議会規則第5条第2項の規定により過半数以上の出席をいただいているため、本会議が成立することを報告させていただく。なお本会議は花巻市審議会の会議の公開に関する指針により公開する会議となる。会議の傍聴を希望する方がいる場合は、これを認めること、また、会議資料及び会議録を市のホームページで公開することを申し添える。

会長及び副会長の選出については、規則第4条第1項の規定により、委員の互選となっているが、会長選出までの間、健康福祉部長が議長を務めさせていただくので、よろしくお願い申し上げます。

（高橋健康福祉部長）

会長が選出されるまでの間、会長の選出方法についてお諮りする。どのような方法で選出をしたらよいか、御意見をいただきたい。

（事務局案があればという声）

事務局案があればということであるが、事務局から御提案するという方法でよろしいか。

(異議なしという声)

それでは、事務局案があれば、お示しいただきたい。

(今井課長)

事務局案では、影山一男委員にお願いしたい。

(高橋健康福祉部長)

事務局のほうから影山委員をお願いしたいということであるが、皆さん影山一男委員を会長に選出ということによろしいか。異議がなければ拍手で承認いただきたい。(拍手多数)

会長は、影山一男委員にお願いすることとする。

(4) 副会長選出

(影山委員)

よりよい意見を反映するために、委員の皆さんの協力を得て、尽力していきたい。よろしくお願ひしたい。

最初の仕事として副会長の選出をお願いしたいと思う。

どのような方法で選出をしたらよいか、御意見をいただきたい。

(事務局案があればという声)

事務局案があればということであるが、事務局から御提案するという方法によろしいか。

(異議なしという声)

事務局案があればお示しいただきたい。

(今井課長)

事務局では、本日欠席ではあるが、狩野隆史委員にお願いしたいと思っている。

(影山会長)

特別養護老人ホーム大谷荘委員長の狩野隆史委員ということで事務局案が出ているが、各委員の方いかがか。異議がなければ拍手で承認いただきたい。(拍手多数)

それでは、副会長は、狩野隆史委員にお願いすることとする。

(5) 協議(影山会長)

① 介護保険事業の実施状況について

介護保険事業の実施状況について今井課長より説明。

〈質疑応答〉

(柳原委員)

資料の7ページの1番下の行で、グループ2施設については4回の公募を行ったが、整備に至らなかったということだが、グループホームに申し込んでいる方の人数を市では把握しているのか。

(佐藤課長補佐)

グループホームに入居を申し込んでいて、入居を待機されている方は、令和2年8月の時点で、34人となっている。

(柳原委員)

現場で居宅のケアマネジャーをしている実感として、介護人材の不足もそうだが、利用料金

のところでの壁も少しあり、実際どのくらいの方がグループホームのほう入居を希望しているのかというところが知りたくて、御質問させていただきました。

(橋本委員)

今の質問と同じであるが、介護人材の不足を背景に応募がなく整備に至らなかったとのことだが、この人材不足というのは、全国どこでも話は聞いており、花巻市内もかなり人材不足で困っているという施設の話をしているが、この点に関して対策があるのかということが気になる。

また、第8期の考え方であるが、これからまた募集して整備するということで変わらないのか。

(今井課長)

まず介護人材の不足ということで、花巻市では介護人材確保事業という事業を行っている。介護人材確保事業は二つあり、まず一つは、花巻市の奨学金を借りた方が、介護施設等に就職した場合、資格は介護福祉士、看護師など限定されるが、奨学金返還金の半額を最大5年補助している。

それからもう一つが、介護のお仕事セミナーといって、市内の高校・中学校の生徒を対象に、介護施設の皆さんの協力を得て、現場の若い介護職員の方が、介護の仕事状況の説明や、PRを行っている。実際そのセミナーを聞いた生徒が、介護施設に就職したという話もあるようで、即効性はないかもしれないが、まず若いうちから、介護の仕事に対する認識を醸成していければということで取り組んでいる。

それから認知症グループホームの整備だが、協議の(5)で説明するが、認知症グループホームについては、整備に向けて取り組んでいく予定となっている。

(多田委員)

初めて、委員になって、わからない部分があるのでお聞きしたいのだが、介護士の不足というところで、今、介護ロボットとか、AIを利用したような介護施設も出来ているのではないかと思うが、花巻市としてはそういったものへの取組はどのようになっているか。

(佐藤課長補佐)

介護ロボットの導入についてであるが、岩手県のほうで、導入に係る費用を補助する制度がある。

(菊池委員)

先ほど、介護認定の審査会の状況ということで、認定件数が1,000件減っているということで、その要因について、有効期間が延長されたということや、コロナの影響でさらに延長されたという話を伺ったが、平成29年から見て、新規が減っているということは、どういう要因なのか。

また、資料の見方だが、8ページに(1)、(2)、(3)、(4)とありますが、(3)、(4)は、(2)の内訳ということになると思うが、そうすると、(4)既要介護認定者の変更・更新後の認定状況について件数が減少していることはさきほどの説明で分かるが、(3)の新規も平成29年から減っているというのは、どういう事情があるのか。

もう1点は、先ほど、人数は減っているが、支給額が増えているという説明があったが、これはどういったことなのか伺いたい。

(今井課長)

まず、新規認定申請者が減っていることについてであるが、平成29年度に総合事業が始まり、介護認定までに至らないが、チェックリストにチェックし、事業対象者になると総合事業の介護予防のサービスを利用できる制度ができた。新規申請者の要支援1・要支援2のところが増えているので、総合事業の事業対象者の方に移行しているという可能性はあるかと思う。ただ

全体的な割合で見ると、さほどこの傾向が強く読み取れるわけではないので、そういった要因も考えられるということである。

1人当たりの給付費が伸びていることについては、介護職員の方の収入が全職種の中で低いという状況があり、処遇改善などに取り組む事業所が増えている状況がある。またもう一つ大きな影響は、令和元年10月から消費税が8%から10%になり、給付費全体が伸びている。さらに、コロナの対応ということで、報酬に加算が上乘せされているということも考えられる。

(内館委員)

挨拶の中でもあったが、今年初めて保険料が減額になったということで、この主な要因は何か。

(佐藤課長補佐)

介護保険料は、3年間の介護保険事業計画期間の給付費の見込み額を出し、見込み額を被保険者の頭数で割って算出するが、第8期では、給付費の見込み額を第7期よりも引き下げたというのが1番の大きな要因である。

(影山会長)

ずっと質問が出ていたが、介護人材の不足ということに関しては、前期からずっと続いているので、少子高齢化、若い人の数がどんどん減っており、今後も、若い人の数は減っていくということはもう目に見えているので、奨学金にしる職場体験にしる、半額じゃなくて全額返還免除にするなどしないと、他業種に若い人が持っていかれる可能性があると思うので、ぜひもっと思い切った人材確保に向けてほしいと思う。

② 地域支援事業の実施状況について

地域支援事業の実施状況について今井課長より説明。

〈質疑応答〉

(影山会長)

資料の10ページのところで、在宅医療介護連携推進事業が特に目立って、コロナの関係で実施出来なかったということが述べられているが、やはり今後も、コロナが蔓延する可能性は拭えないと思うので、リモートで行う仕組みをつくるなど、そういった検討は進んでいるのか。

(今井課長)

次の自己評価でも説明しようと思っていたが、令和3年度は、リモートいわゆるオンラインでできるものはやっていこうということで、例えば、在宅生活を支える多職種が集う会については、オンラインですでに2回実施しており、あと3回実施予定である。何とか、やらないのではなく、やっていく方向で、工夫しながら取り組んでいる。

③ 第7期介護保険事業計画評価指標に対する自己評価

第7期介護保険事業計画評価指標に対する自己評価について今井課長より説明。

〈質疑応答〉

(大原委員)

達成の評価について、コロナの影響で、やや不十分とか、目標値になかなか到達しない状況

があるが、コロナの影響で達成出来なかったもの、コロナが余り関係ないものと分けられると思う。さらに、コロナ禍であってもオンラインなどで実施できるものがないかなど、そういったようなことを分析した上で、PDCA完成の方策を探っていかなければいけないと思う。

特に、地域ケア推進会議が出来てないというところだが、要因としては個別ケア会議からの地域課題の抽出が出来かねたということだが、個別ケア会議の地域課題の抽出という部分も根本的な地区診断等を重ねていけば、最終的な市全体の地域ケア推進会議もオンライン等で開催できたのではないかと。コロナはいつ収束するかわからないので、今後はそういった形での開催を検討する方向であればよいと思う。

(久保田課長補佐)

大原委員がおっしゃるとおりだと思う。地域ケア個別会議のほうから地域課題の吸い上げが出来ていないというのは毎年皆さんにお聞かせしている言葉であり、ここを何とかしなければいけないという問題意識は強く持っているところである。地域ケア個別会議だけではなく、ふだんの相談内容や、様々な事業の中からも、地域課題は見て取れるかと思うので、地域の診断をきちんとし、その地域の状況をまず知り、その上で、市全体として取り組むものは何かというのを明らかにすることは必要だと思うので、地域ケア個別会議にこだわらず、それを含めた視点で地域の課題を整理するというのを急務として進めていきたいと考えている。

(影山会長)

地域ケア推進会議のところは、全く達成出来なかったという評価が3年間続いているので、ぜひとも、次年度以降は改善が見られるようにお願いしたい。

④ 保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について

保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について今井課長より説明。

〈質疑応答〉

(内館委員)

22ページであるが、過年度の比較で、令和2年度になって交付額が倍増しているが、これは何が変わったのか。

(今井課長)

平成30年度・令和元年度は、保険者機能強化推進交付金のみだったが、令和2年度から新たに介護保険保険者努力支援交付金が創設され、交付額は基本的に増額になっている。

(菊池委員)

資料No.2が評価指標と配点だと思うが、21ページ下と22ページの上に評点の高い項目、評点の低い項目があるが、資料No.2でのそれぞれの指標がどうだったのか、細かくは出せないのか。

(久保田課長補佐)

一つ一つの指標に対する評点を出せないこともないのだが、総体として、どの分野が高い傾向で、どの分野が低い傾向にあるというのがわかるようにお示しさせていただいた。

(菊池委員)

それは何となくわかるが、資料No.2のほうで配点だけが示され、それぞれの評点がないので、資料No.2に評点があれば、項目がたくさんある中で、どの項目ができていて、どの項目を強化する必要があるというところが見えるのかなと思った。

(久保田課長補佐)

資料No.2は、国のほうから示されている評価指標ですので、花巻市の実際の点数が見えないということだったかと思う。分野ごとではなく、それぞれの指標について細かく評点を示すことにより、委員からも意見を引き出せるかと思う。

評点について、国からは、資料No.2のような形のものに花巻市の評点が入ったものが示されているのではなく、それぞれ77項目の点数だけが横1行で示されたデータしか来ていなかったのので、今回は全体的な傾向がわかる形でお示しさせていただきました。

(影山会長)

例えば資料No.2で、IのPDCAサイクルの活用による保険者機能の強化に向けた体制等の構築で、①から⑦があつて、資料No.1の21ページでは、Iの評点として、花巻市は190点というふうになっているが、例えば①はアなのかイなのかというのは、国から示されているのか。

(久保田課長補佐)

示されているが、それぞれの評価指標の評点をお示しすると膨大な資料になるので、今回は、全体的な傾向をお示しすることをポイントに資料を作成した。

(菊池委員)

例えば①はアで、②はイで、これが3点、5点ということを示した一行がないのかという疑問である。そうするとここに積み上がって、どこが強くてどこが弱いとか、見えるのでは。

(久保田課長補佐)

今いただいたアドバイスを基に、資料No.2の評価指標とは別に、評点一覧表という形で、1枚資料に追加することはできるかと思う。

(影山会長)

ぜひ、マルをつけるなどしておけばよいかと思う。今後、改善をお願いしたい。

(大原委員)

保険者機能推進交付金をいただけるということは、素晴らしいことだと思う。同規模の他市町村と比べて花巻はどうなのかっているか。また、この交付金の使い道はどのようになっているか教えていただきたい。

(久保田課長補佐)

他市との比較ということであるが、手元に資料がないが、全国市町村における立ち位置は今明確にお答え出来ないが、県下の中では、常に3番目または4番目の立ち位置で交付金をいただいている。

いただいた交付金については、原則、先ほど資料の協議の2点目でお話しした地域支援事業に充当しているが、地域支援事業のほうで受け切れない部分については、一般会計のほうの在宅介護予防対策事業費のほうに充てている。

(大原委員)

介護予防事業の通の場への参加者への還元ということは、この範疇ではないのか。他市町村で介護予防事業に参加して、健康維持をしている方々に、ポイント制などで、達成すれば、商品券が配られるといった市町村もあるようだが、その辺のところはいかがか。

(久保田課長補佐)

保険者機能強化推進交付金と介護保険保険者努力支援交付金の二本の交付金については、それぞれ充当できる事業が地域支援事業の中でも決められており、ただいまアドバイスいただいた通いの場合は、総合事業のほうの事業の中に入るものであるが、総合事業のほうには既に充当しているので、介護保険特別会計で行っている事業以外の、一般会計で行っている介護予防事業の中から、介護予防への寄与の度合いが高い事業に対して充当している。

⑤ 地域密着型事業所の整備状況

地域密着型事業所の整備状況について今井課長より説明。

(6) 閉会（佐藤課長補佐）

これをもって、令和3年度第1回花巻市介護保険運営協議会を閉会する。